

GIAHS 申請書

作成ガイドライン（農林水産省仮訳版）

2023 年 11 月

執筆者向けの重要なガイド

1. 目的

- 本 GIAHS 申請書作成ガイドライン（以下「本ガイドライン」）は、GIAHS 申請書の申請者に、GIAHS 申請テンプレートの各パートで要求されている記述に関する推奨事項を明確に示すことを目的とします。したがって、本ガイドラインは GIAHS 申請テンプレートを補完する文書となります。
- 本ガイドラインは変更される場合があります。そのため、申請者には GIAHS [ウェブサイト](#)を定期的に確認することを推奨します。
- 用語集を参照し、記載されている定義に合わせてください。
- GIAHS 申請書を作成する際には、申請の適切な準備と提出の手助けとなる以下の点を考慮することを推奨します。

2. 申請内容

- 申請書の記述は、検証可能な事実と信頼性のあるデータに基づいた客観的なもので、科学的な証拠又は参考文献により裏付けられ、遠回しな表現や比喩の使用は避けなければなりません。
- 申請書は申請システムの主要な特性について全体的に理解できる構成で、首尾一貫したものとし、主要な情報に精通しない読者がいることも考慮する必要があります。
- 参考文献および出典は、本文中に適切かつ正確に引用し、提案書末尾に参考文献リストを添付してください。

3. 内容および提案書の修正

- 科学助言グループ（SAG）による改訂・修正の要請に従い、申請者は以下の書類を提出する必要があります：
 - (1) 変更履歴を強調表示した修正版
 - (2) 修正版のクリーンバージョン（変更履歴を反映したもの）
 - (3) 修正した提案書に含まれる修正箇所のページ番号を記載して、SAGの各質問に回答した第3の独立文書

4. 申請の長さ

- 申請書の長さに関する制限はありません。記述は申請する農林水産業システムを明確に理解できるように、十分に詳細で包括的なものとしてください。ただし、本ガイドラインで示した要件に関連しない情報や不必要な繰り返しを避けることを強く推奨します。

5. 視覚的資料及び追加情報

- 申請書の記述内容の理解に役立つよう、写真を添付するようにしてください（申請書本文の適切な部分に挿入することが望ましい）。また、可能であれば過去の写真と現在の写真（同じ場所で撮ったものがより好ましい）の比較があると、農業的なランドスケープシステムがどのように発展したのか、具体的に示すことに有用です。
- 伝統的なシステムの機能をより良く、十分に理解できるよう、可能であれば、申請するシステムのビデオ等（※web サイトのリンクを想定）を添付することが推奨されます。
- 申請する農林水産業システムに関係がある科学的な参考資料の提示も強く推奨されます。

- その他の視覚的資料の使用（図表やグラフ、手描きのスケッチ、面積図、土地の断面図、カラーの図、イラストなど）は、申請する農林水産業システムを理解することに極めて効果的です。例えば、システム内の異なる要素の相互関係や生産サイクルによるランドスケープの発展を示す図表を含めることを強く推奨します。

6. 地図の利用

申請書内の地図はすべて、優れた高画質（高解像度）のものを使用してください。

- a 申請には2つの主な地図が必要です。
 - a 申請システムの厳密な場所、その明確な境界及び地理学的な状態を示す**地理図**。
 - b 申請地域のすべての土地利用と土地被覆を示す**土地利用地図**。
- その他、申請全体で地図を追加することが強く推奨されます（気候図、地形図、等高線など）。

7. 本ガイドラインにある GIAHS の視覚的なアイデンティティ、ロゴと各ページの色、又はその他の要素は、本ガイドラインを FAO の著作権に基づいて作成することだけを目的として使われているものです。FAO に提出する正式な申請書の様式としては使わないでください。

8. 申請書の構成

- a 申請書の構成は次の通りとします：各セクションは章（具体的には、セクション III にはパート A、B、C、D を、セクション IV は GIAHS の 5 つの認定基準ごとの章を設ける）と適宜、節からなるものとします。
 - i 表紙
 - ii 目次
 - iii セクション I. 概要情報の記入表
 - iv セクション II. 農林水産業システムの概要
 - v セクション III. 申請システムの重要性
 - vi セクション IV. GIAHS 認定基準 1, 2, 3, 4, 5
 - vii セクション V. 動的な保全のための保全計画
 - viii 参考文献
 - ix 付属資料（必要に応じて複数の付属資料を添付することが可能です）。
- b フォント、フォントサイズ及び行間
 - 1. フォント：「Times New Roman」、フォントサイズ 11 又は 12
 - 2. 行間：1
 - 3. 章、セクション、サブセクションのタイトルは次の通り表記するものとします。

I. 章のタイトル（フォントサイズ 16）

1. セクションのタイトル（フォントサイズ 14）

1.1. サブセクションのタイトル（フォントサイズ 12）

目次

I. 概要情報の記入表	6
II. 農林水産業システムの概要	8
III. 申請システムの世界的重要性	9
IV. GIAHS認定基準	11
食料及び生計の保障	12
農業生物多様性	14
地域の伝統的な知識システム	15
文化、価値観及び社会組織	16
ランドスケープ及びシースケープの特徴	17
V. 動的な保全のための保全計画	19
I	

I. 概要情報の記入表

農林水産業システムの名称	名称には、申請地域の地名を含み、そのシステムの主な特徴が含まれることが望ましい。
提出日	
申請機関又は団体、連絡窓口の情報	
(政府の) 所管省庁、連絡窓口の情報	
場所、地理的座標	地域、都市、県、及び場所の簡単な説明
申請地域と首都又は主要都市間のアクセス	申請地域に到達する最速の方法（飛行機、高速道路）、最寄りの空港までの距離など
GIAHS 申請地域の面積（「ヘクタール」表記） ¹	
農業・林業・漁業・水産養殖業のための農業生態学的地帯（Agro-Ecological Zone） ²	農業生態学的地帯（Agro-Ecological Zone）は、「類似した土壌・土地・気候特性を持つ同質の隣接する地域」として FAO によって定義されています。 ※参考： https://webarchive.iiasa.ac.at/Research/LUC/GAEZv3.0/

¹ 申請システムの世界的重要性の章のパート A に記載された説明を参照してください。

² 農業生態学的地帯とは、土地の資源調査した構成単位で、土地利用のための可能性と制約に関する範囲（条件）を、気候、地形、土壌、及び（又は）土地被覆の観点から定義したものです。

地形的特徴	
気候区分	気候区分は国際的分類によって定義されています。
人口（概算）	申請する GIAHS に関する個人及び世帯数
伝統的な地域社会及び（又は）先住民（該当する場合）	先祖、社会的、文化的又は国家の経験が互いに共通であると認識している人のグループ
主な生計源	農業、水産養殖、林業、漁業、食品製造、観光、食品加工など

II. 農林水産業システムの概要

申請者のための注意点

次の内容を簡潔にまとめてください（最大 3 ページ）

申請システムの概要

このセクションでは、提案書のすべての構成要素について簡潔に説明してください。システムの種類（農耕牧畜業、漁業、アグロフォレストリー、焼畑農業、伝統的灌漑など）、その仕組み、世界的な重要性、システム内の相互作用、5 つの認定基準との関連性を簡潔に記述してください。これらの各要素を明確に記述することで、そのシステムの独自性を示してください。

III. 申請システムの世界的重要性

申請者のための注意点

- 本章では、申請する農林水産業システムの詳細とその世界的な重要性について、その世界レベルでの遺産的価値に重点をおいて、システムがGIAHSとして適格であること示す独自の特徴を説明してください。
- 申請システムの世界的価値は次の4つのパートにより記述できます。

パートA 特別な価値及び特徴

- GIAHS地域内で生じる有形または無形のフローを含め、システムのさまざまな構成要素の相互作用について説明してください。概略図やイラストを用いて視覚的に補足してください。
- 世界的に重要な要素に焦点を当てることで、申請システムをGIAHS地域として際立たせ、そのシステムの特別な価値及び独自の特徴について、明確な説明を提供（し、5つの認定基準すべてについて詳細を提示）してください。
- 明確な境界線を含む地図を提供してください。

GIAHS申請地域とは：

提案書に記載されている5つのGIAHS認定基準すべてが具現化または適用されている地域を指します。耕作地だけでなく、農業生産を促進し支えている生態系サービスのように、農家が長年にわたって有益な機能を開発・利用するために活動・探求してきた周辺の自然環境の地域も含まれます。このような自然環境における人間の影響を受けた要素はGIAHSの一部を形成しており、それらに関連するノウハウもGIAHSの伝統的知識に該当します。

厳密にはGIAHSにおいて主要な農産物に使用されていない土地であっても、場合によっては、GIAHSの範囲内とみなされる可能性があります：

- a. システムの観点から、GIAHSを理解するための中核地域から除外することができない、伝統的農業を営む地域と統合または相互連携している土地（例：森林内の一時的な農業区画、移動牧畜のための地域、アグロフォレストリー、農地と一体化した河川の景観、遺産の要所、農村住宅など）。
- b. 文化、農業生物多様性、遺産、景観、または動的保全のための活動を考慮し、GIAHS サイトの価値を理解するためにより広い境界を必要とする地域。

該当する場合は、以下のように定義される周辺支援地域を追加することができます：

周辺支援地域は、GIAHSの保全、管理、持続可能性を支援する役割を果たす地域です。潜在的に有害な慣行や環境の搾取と、明確な規制と適切な監視を通じたGIAHSの保護地域との間に、境界を設けることにより、GIAHSの特定の特徴を維持する助けとなります。

周辺支援地域を含めることは必須ではなく、各システムに合わせて適用してください。

パート B 歴史的な関連性

- 申請システムの発展に歴史的に貢献してきた主要なプロセスに注目して、システムの歴史的な発展を説明します。特に、その農林水産業システムの起源と、それがどのように作られたか、時代の変化にどのように適応してきたかに重点をおいて、農林水産業の発展の全体像と地元のシステムとを結びつけて、その価値を具体的に示してください。

パート C 現代的な関連性

- 現代の世界的な問題や課題、特に、食料安全保障や栄養、社会的・経済的福祉、気候変動への適応、農村の開発と保全、生物多様性の持続可能な利用などへの対応に、そのシステムがどのように貢献したかを強調してください。
- その農林水産業システムが、持続可能な開発目標（SDGs）などFAO及び国連のグローバル目標にどのように関係して貢献し、「国連家族農業の10年（UNDAFF）」や「国連生態系回復の10年」などの国際的な取組を達成しているかを簡潔に説明してください。

パート D 比較分析

- 申請システムと、国内及び（又は）海外の他の類似の農林水産業システムと比較した差異や特色を説明してください（比較研究）。人と自然との相互作用に加え、地元環境における地域社会との共進化や、連綿と続く知識の継承プロセスの結果、申請システムが他の類似のシステムと比較して明確な特徴を持っている場合があります。本比較研究の目的は、申請システムの類似性や明確な特徴を明らかにするための客観的な作業を実行することであり、他のシステムに対する優位性を判断することではありません。
- こうした比較研究により、特定の国内や地域的な自然環境や、文化的背景における申請システム固有の特徴を国際的なレベルで分析することが可能となり、申請書作成者は情報を交換したり、類似したシステムから学ぶ機会を得たりすることができます。共同・合同申請の場合、本作業により、申請システムをさまざまな利害関係者が適切に評価することが可能となります。

IV. GIAHS 認定基準

申請者のための注意点

- この章は、GIAHS 認定基準（次ページ以降に示します）1つに対し1つのセクション、合計5つのセクションからなります。これらのセクションは申請システムの特徴を詳しく評価し、GIAHS として認識できるようにするためのものです。各セクションは、農業遺産の基本的な要素の1つをカバーします。
- この5つの基準は相互に関連しています。その結果、一部の情報が重複する場合がありますが、申請者は質及び量の観点から、適切な情報を最も関連性のあるセクションに記載してください。
- 各基準に対して提供される情報は網羅的である必要はありません。申請者は、5つの基準のどれにも該当しない関連した追加情報を、付属資料に含めることによりシステムをさらに詳しく説明することができます。

1 食料及び生計の保障

申請する農林水産業システム³が、地域コミュニティの食料及び生計の保障にどのように貢献するかを説明してください。これには、食料の確保、様々な食習慣への寄与の他、そのシステムの経済的持続可能性を含めることができます。農業コミュニティの生計に対するそのシステムの経済的貢献には、地域及び（又は）外部コミュニティの間で供給や交換されているあらゆる慣行を含めることができます。

申請者のための注意点

- 十分な情報を提供し、農業様式や関連する経済活動及び地域社会の食料・栄養保障と生計への寄与を説明するものとします。この情報はできる限り数値データや図によりさらなる裏付けを行います。主たる生計手段が農業ではない場合、その農村コミュニティの一般的な経済構造に関する情報を提供します。
- 地域社会の食料安全保障への貢献を説明するときには、関連する FAO フレームワーク（食料安全保障の基本構想（Basic Concepts of Food Security））に従うことができます。

農村コミュニティの食料保障及び生計保障への、申請システムの貢献

- ・ 申請する農林水産業システム（農林水産業生産）が農村の地域社会の食料保障及び生計に（例えば、食品製造や関連する活動を通して）どのように貢献しているかを記載してください。

システムが提供する製品及びサービス

- ・ 植物、動物、林産物、水産物、医薬品など地域社会の福祉に関連したその他の製品を含む、そのシステムに由来し、そのシステムで生産され、地域社会の食料及び栄養の保障や生計に貢献する主な食用及び非食用製品を列記してください。
- ・ 主要作物の生産量、それらの土地生産性（例：ヘクタール当たりの収量）、その売上高（経済的価値として示す）を、入手可能な限り記載してください。
- ・ 申請システムで地域社会が達成した自給率（食料、経済）を具体的に示してください。
- ・ そのシステムの製品が地元、国内、国際レベルで達成した市場への関与（市場アクセス／参加）の程度（例：製造販売の割合、生産物の出荷先）を詳細に提示してください。
- ・ 遺産システムに関連したその他の経済活動（例：観光、アグリツーリズム、食品加工、工芸品、衣服など）が、その保全や開発への貢献に果たした役割に関する情報を提示してください。

農業構造及び管理

- ・ 農林水産業システムを支える農場数（家族経営農場を含む）を示してください。
- ・ 農林水産業システムの種類を記載してください。例：混作、間作（水田、水産養殖など）、アグロフォレストリー、牧畜又は水産養殖システムなどの農林水産業生産モデル。
- ・ システム全体が使用する土地、林地、牧草地、及びその他の関連する農業資源の規模及び1農場当たりの平均規模を記載してください。

³ FAO による「農業」の定義には、林業、畜産、漁業セクターも含まれます。

- 平均的な農場の労働構造を、労働者数及び農業労働力の調達源（家族、地域社会、又は外部の労働者など）の形で記載してください。
- 申請する農林水産業システムによる貢献に注目し、農民 1 人あたり、又は世帯あたり（より適切な方）の平均所得と、地元の生活水準や志向に合わせたその他の収入源の概要を説明してください。

持続可能性とレジリエンスへの貢献

- システムの適応能力と食料と生計の保障を（例えば、生産や経済の機会の多様化により）継続的に確保する能力を記載してください。

脅威と課題

2 農業生物多様性

システムの農業生物多様性を FAO の定義に従って詳細に記載してください。システムには、農業、漁業、林業、畜産業の手法の生物多様性の保全及び持続的利用に貢献する、農業生物多様性、遺伝的多様性、及び関連する慣行／知見を備えているべきです。

申請者のための注意点

FAO は農業生物多様性を次のように定義しています：

「食料や農業（作物、家畜、林業及び水産業を含む）のために直接もしくは間接的に利用される動物、植物及び微生物の多様性又は変異性であり、食料、飼料、繊維、燃料及び薬に用いられる遺伝資源及び種の多様性を含む。それ以外にも『土壌微生物や捕食者、花粉媒介者のような生産を支える収穫しない種の多様性』や『農業生態系を支える幅広い環境（農業、畜産、森林、水生環境）に生息する収穫しない種の多様性』を包含する。」

育成、飼育、収穫された動植物

- 育成、収穫された種、変種、品種を、表形式の網羅的なリストに、可能であればその目的（例えば、食品、医療用、人間及び（又は）動物による消費など）を明記してください。変種の写真を添付してください。
- 一般名称（伝統的な名称と自国語での名称の両方と、可能であれば英語名）と学名の両方と、その固有の特徴やその土地固有の変種の数に記載してください。
- 作物と変種の分布（混作、混植、単作）とそれらの特徴を記載してください。

生態的機能

- 育成される関連の生物多様性を含め、種とその農林水産業システムによって提供される生態系サービスの間の有益な関係に注目します。
- 絶滅危惧種／変種と、申請システムがそれらの保全にどのように貢献するか注目し、申請システム（例えば森林管理）に関係する保護種（近縁野生種、植物、動物、微生物）を列記してください。
- GIAHS に関連する人間活動と生物多様性の間の有益な関係を記載してください。

申請システムの持続可能性とレジリエンスに対する農業生物多様性の寄与

- 干ばつや洪水、土地の浸食、水の富栄養化、山火事、植物相・動物相コミュニティの顕著な減少など、環境への脅威に関連した有害な影響を緩和するために、農業生物多様性及びその生態系との相互関係がシステムをどのように支えているのかを説明してください。
- 社会、経済、健康及びその他の要素により引き起こされる負の影響に対し、農業生物多様性がレジリエンスの向上に貢献するプロセスがある場合、それを記載してください。

脅威と課題

3 地域の伝統的な知識システム

農業活動、林業活動及び（又は）漁業活動を支えてきた、地域の貴重で伝統的な知識及び慣習、独創的な適応技術、生物相・土地・水等の自然資源の管理システムの状況を説明してください。

申請者のための注意点

（以下の提案は、作物生産の農林水産業システムに基づいています。）その他の具体的な生産システムに関しては、異なる情報を提供したり、そして（又は）詳細を説明したり、異なる構成にすることが可能です。中心となる内容が申請タイトル名を反映させたものとなるようにしてください。

農業の慣行／技術及び関連する知見

- 農業生産システムの健全な管理を保証する、農業慣行、技術、及び関連する知見をすべて説明してください。これには、さまざまな種類の農作物に関連する、耕作及び管理慣行／技術、動物の飼育、受粉の方法、トレーニング方法などが含まれます。
- 遺伝物質の選定、保全、繁殖に関連する管理方法を、生産者による農業生物多様性の管理方法に重点をおいて説明してください。
- 農地の内外に存在する相互関係や相乗効果を具体的に示すスキームを提供してください。必要に応じ、利用されている農業生態学的慣行（例えば、相乗効果や生態系サービスの管理に焦点を合わせ、水生動物なども含む、農作物や他の農作業との間の有益な関係）に重点をおいてください。
- 害虫・疾病管理の説明をしてください。
- 関連がある場合、収穫及び収穫後の管理慣行や技術を説明してください。
- 用意されているツールや技術、労働支援の種類（動物、機械など）を説明してください。

農業資源の管理（土地や水など）

- 個別の農家そして（又は）地域社会が保有する、農業資源の管理慣行や技術を説明してください。これには、水や土壌の管理の他、森林や生物多様性の管理（例えば、棚田、石垣、灌漑ネットワーク、森林や火災の管理、農業建築物やビルなど）を含むことができます。
- 負の環境影響の軽減や農林水産業システムと周辺環境との相乗効果の向上に貢献する方法（統合されたシステムの特色、自然環境との共生）に重点をおいてください。

持続可能性とレジリエンスに対する地域の伝統的知識の貢献

- 負の環境影響の緩和に貢献する慣行（例えば、リスクの低減及び（又は）天然資源の保護などによる）などを含む、伝統的な知識や慣行が、システムの持続可能性やレジリエンスにどのように貢献するかを具体的に示してください。

脅威と課題

4 文化、価値観及び社会組織

申請システムにおいて文化的アイデンティティや土地のユニークさが認められ、それがどのように地域を特徴付けているか説明してください。加えて、資源管理や食料生産に関連した社会組織、価値観及び文化的慣習が、どのように天然資源を保全し、天然資源の利用とアクセスに関する公平性を促進しているか説明してください。

また、地域社会組織が、「環境的目標及び社会経済的目標のバランスを取り」、「レジリエンスの向上を生み出し」、そして「農林水産業システムを機能させる全ての要素とプロセスを再生する」上で、重要な役割をどのように担い得るかを示してください。

申請者のための注意点

文化的アイデンティティと農業

- 農林水産業システムに関連した特定の文化的慣行と文化的アイデンティティの要素：例えば、信仰、儀式や象徴、神話と物語、音楽、踊り、言語、歴史的要素、芸術や工芸、伝統衣装、地元の農産物を材料として使用している伝統料理（可能であればその栄養価）など。

システムの管理

- システムの維持に関連した組織や組合を、その役割、発展、関わりを中心に列記してください（地域共同体（CBO）、農業協同組合、女性の組合、若者の共同体など）。
- 習慣や地域社会のルールなどの集合的な価値観を、申請システムの維持や発展、伝承における役割に重点をおいて説明してください（意志決定プロセスにおける合意、地域社会での労働力の分配、天然資源へのアクセスと利用、慣習法、種子の交換、男女別の労働力の分担など）。
- 世代間での農業関連の知識や慣行、文化の継承の管理（例えば、地域社会のリーダー、家族、女性などによる）について説明してください。
- NGO や基金、政府機関など、システムをサポートしている外部の組織を記載してください。
- GIAHS 申請プロセスの地元の地域社会の中での認知度、プロセスへの関与の度合い、それらのプロセスや動的な保全のための保全計画の実行への貢献について説明してください。

システムの持続可能性とレジリエンスへの文化、価値観及び社会組織の貢献

- 共通の価値観及び（又は）伝統的な社会組織が、システムの持続可能性やレジリエンスの支援及び向上に貢献している事例がある場合は、それを説明してください。

脅威と課題

5 ランドスケープ及びシースケープの特徴

ランドスケープ又はシースケープが、長年にわたる人間活動と環境の相互作用によってどのように発達してきたか、安定化し、緩やかに進化してきたかを説明してください。ランドスケープやシースケープの形態、形状及び相互関係は、長い歴史的永続性及びそれらを生み出した地域の社会経済システムの強いつながりによって、特徴付けられます。それらの安定性又は緩やかな進化は、特定の区域又は地域における食料生産、環境及び文化の統合を証明しています。

申請者のための注意点

- 農林水産業システムは、土地利用システムであるとともに、農村の地域社会がその環境と共に適応したことにより発展してきたランドスケープやシースケープです。そのため、本セクションでは、土地利用構造とランドスケープやシースケープの特徴に関して利用可能なすべての情報を提供すべきです⁴。
- ランドスケープ／シースケープシステムの説明を、図や写真、スケッチ、平面図、断面図、その他の種類の図表など、適切な視覚的資料を用いて補足してください。

ランドスケープの一般的な説明

- 図表や写真、略図など、適切な視覚的資料を用いて土地利用とランドスケープを説明してください。

自然の背景と土地利用

- システムの生物物理学的、非生物的、気候的、地理的、環境的条件を説明してください。これには、GIAHSにより影響を受ける地域の位置やその特徴的形態、平均勾配、標高、などの物理的環境のほか、システムのその他の自然的要素とその機能（森林、流域、湖など）も含まれます。

ランドスケープ／シースケープ

- 耕作地、放牧林、草原、湿地、沼地、水域、森林、市街地、散在する開拓地などの要素を含む農業活動と、棚田、空積み石壁、水流、生垣、並木など、そこで使われている農業慣行や技術に関連したすべての土地利用に重点をおいた、土地利用図を添付してください⁵。土地利用図は、概要に記載されているサイト内のそれぞれの農業生態学的地帯（※Agro-Ecological Zone）におけるこれらの要素を、必要に応じ含めることができます。
- ランドスケープの構成要素（前の項目で列記した通り）間の関係と、その空間的特徴や位置、機能との相互作用に重点をおいて、農業的なランドスケープシステムの説明を行ってください。
- 農業及びそれに関連した資源管理の方法が、どのようにランドスケープを歴史的に形成し、変化させてきたかという点に重点をおいて、システムへの影響を説明してください。

⁴ ランドスケープ／シースケープは単なる美しい景色ではありません。それは、歴史の中で人間と自然が相互作用した結果、生まれた実体です。それは、農林水産業のランドスケープシステム全体を形成する空間の形状（開かれた場所、作られた場所、あるいは自然な場所）、特定の機能（その形状や場所にも関連）、構成要素間の関係として記述することができます。

⁵ 可能であれば、土地利用の説明にグラフや図表を追加することを推奨します。

- ・ 沿岸のランドスケープと隣接する海域、陸上から見た海の景色、海から見た陸や海岸線の景色等のシースケープの独自の特徴を列記してください⁶。

開拓地及び関連した構造物

- ・ 土地管理の慣行や建設に関連して利用される知識を説明してください。後者には、農村の開拓地の他、空積み石壁、棚田の構築、納屋、作られた湿地、貯水池など農業活動に関連したあらゆる種類の建造物が含まれます。

持続可能性とレジリエンス

- ・ 侵食、洪水、干ばつなどの自然的制約への対処に貢献する、ランドスケープやシースケープの管理・慣行の役割と機能に重点をおいて記載してください。
- ・ ランドスケープと土地計画の政策があれば、列記してください。

脅威と課題

⁶ 可能であれば、ランドスケープ／シースケープの構造が、時間とともに現在の独特な景色や景観の美的特徴をどのように生み出したのかを簡潔に説明してください。

V. 動的な保全のための保全計画

申請者のための注意点

申請する農林水産業システムの動的な保全のための計画は、申請と同時に作成しなければなりません。保全計画を作成する際は、以下の事項を含めることを推奨します。

- a. 社会経済的圧力や環境変化など、申請システムの存在の継続、持続可能性、実行可能性に対し、5 つの認定基準に関して示された脅威と課題の特定、評価、分析を行います。
- b. システムの動的な保全を推進するために、上記の「a」で特定し、分析した脅威と課題に対処するために、さまざまな利害関係者がその地域ですでに実施している、及び（又は）今後実施する予定の具体的な活動（関連する政策、戦略、計画文書を含む）を特定し、その詳細な説明をしてください。
- c. それぞれの活動が、「a」項で説明した脅威と課題にどのように対応するかについても詳しく述べてください。
- d. 上記「b」の説明に際しては、次に示す補足情報も提供するものとします。
 - 地元、国、国際レベルで関与している地元の地域社会や施設を含む、関連する活動での各利害関係者の役割と責任を説明し、どの利害関係者が責任主体として活動しているか、どこがパートナーなのかを明示してください。
 - 各活動の実行のための具体的かつ実行可能な時間枠を設定してください。
 - 保全計画の実行に必要な具体的な予算の見積もりと資金源を提示してください。
 - 地元、国内及び（又は）国際レベルでの財源の活用及び（又は）資源の動員に、どのように複数の利害関係者が関わり、政策や戦略、活動がどのように利用できるかを説明してください。
 - 保全計画の実施と影響をどのようにモニタリングし、評価するかを説明してください。

保全計画が適切に構成され、結果を重視してよく調整されたものとなるよう、各活動が特定した脅威に対処できるようにするとともに、所定の時間枠内で達成できる目標を設定してください。

